平成　　年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	Ⅱ－1－

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

※

○受験番号，問題番号，技術部門，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。
○解答欄の記入は，1マスにつき1文字とすること。（英数字及び図表を除く。）

1．DoS攻撃とは

DoS攻撃とは、通信ネットワークを通じてコンピュータや通信機器などに行われる攻撃手法の一つで、相手方のシステムに大量のデータを送りつけて、通信容量や処理能力を飽和状態にしてシステムを応答できないようにする攻撃手法である。

2．DDoS攻撃とは

DDoS攻撃とは、ハッカーが脆弱性を抱えた、多数の無関係なコンピュータに対して、ワームや不正アクセスを使ってツールを忍ばせておき、それらのコンピュータから一斉に、システムに大量のデータを送りつけて、通信容量や処理能力を飽和状態にしてシステムを応答できないようにする攻撃手法である。

3．DDoS被害の特徴

DDoS攻撃は、攻撃元が多数になるため、組織的犯行になれば簡単に、対象サイトの回線をパンク状態にすることができる。これは、従来のファイアウォールといった検出手段では防御できない。

DoS攻撃の場合、攻撃元が一か所なので、攻撃元（ハッカーマシンのIP）が特定しやすく、対策が講じ易い。一方、DDoS攻撃の場合、第三者のサイトを踏み台にするため、攻撃元（ハッカーマシンのIP）が特定し難い。そのため、従来のファイアウォールやアクセスリストといった手段では、攻撃を防ぐことが難しいといった特徴がある。

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字